

千葉県環境講座2014参加報告

11月16日(日)、環境講座2014(主催:千葉県、実施団体(受託者):環境パートナーシップちば)が、約60名もの方が参加するなか、アクアスフィア代表の橋本淳司講師による「世界と日本の水事情から持続的な水利用のあり方」をテーマとする講演がありました。

講演は、日本と世界がそれぞれ抱える水問題をクイズ形式など取り混ぜながらメリハリが効いたもので、



■約60名による質疑応答



■講演中の橋本講師

- 日本の地下水の減少要因として水田の減少が挙げられる。
- 日本で販売されるハンバーガー1つは、その材料調達のために諸外国で給水車約2400リットル相当の水を使用している。
- 汚染された河川の代替水源として掘削した井戸水に砒素(ヒソ)が混入して、かつそれを飲料水として使用せざる得ない国がある。

などの報告に参加者一同驚きの声を上げていました。講演後、現状で推移するといつ、どこの国が水枯渇するのか、日本人が水の有り難味を知る実験はないのかなど質問に対して、橋本講師からは2025年に発生する水不足地域や熊本県などの地下水復活に向けた取組みなどが紹介されました。



■2025年に水不足が予測される地域